ウエスタンテニスクラブ

創立100周年、おめでとうございます。

ウエスタンテニスクラブは、1959年に山を切り崩して作ったプライベートコートでした。テニス協会の加盟年度は不明ですが、第21回大会に名前の記載があるので、1967年以前に入会していたと思われます。

軟式から硬式に転向した初代オーナーが、全てのショットをウエスタングリップでプレーしていた事でクラブ名を決めたと記憶してます。三方を山に囲まれた一面だけのコートで、風からも人目からも守られた“隠れ家”的雰囲気のクラブ。「アート？実は看板です」のタイトルで神奈川新聞に掲載されたモニュメントが入口に立っています。

２０２０年のコロナ禍では「テニスどころではない」という状況でしたが、より「テニスを楽しみたい」という強い気持ちを多くの方と共有した経験でもありました。これからも横浜の地に根ざし、ゆったりとした「テニス時間」を楽しめるクラブとしてあり続けたいと思います。